

gNas drug pa の般若心経註について

現銀谷 史明、ゴンタ・ガワンウースン*

はじめに

1) gNas drug pa について

本稿は gNas drug pa の般若心経註釈書について、試訳とテキストを提示する。ここでは、それに先立ち、gNas drug pa がどういう人で、彼の般若心経註釈書がどのような特徴を持っているのかを解説する。

gNas drug pa については情報がほとんど無い。彼の著作集も有るらしいが、公刊はされていない¹。また、伝記の類いも管見の限り見いだせない。それ故、彼がどういう人だったかを知るには、彼以外の著者の書いた文献に言及される記事をつなぎあわせて、窺い知ることしかできない。

そのような状況の中、Kano [2016] は彼について次の諸点を挙げている²。

① 14 世紀のサキャ派の学匠である。② 『中辺分別論頌』への註釈がある。③ 彼の師匠には、ラマタンパ・ソナムギェルツェン (Bla-ma-dam-pa bSod-nams-rgyal-mtshan (1321-1375))、ワンチュクベル (dBang-phyug-dpal)、サンギェーユンテンペルサンポ (Sangs-rgyas-yon-tan-dpal-bzang-po)、パンローツァーワ・ロトゥーテンパ (dPang Lo-tsā-ba Blo-gros-brtan-pa (1272-1342)) がいる。④ ソナムギェルツェンにヘーヴァジュラタントラの註釈を作るようお願いした。⑤ ソナムギェルツェンの入菩提行論註釈の筆記者である。⑥ ソナムギェルツェンの *sMon pa byang chub mchog tu sems bskyed pa theg chen lam gyi snying po* という著作の筆記者である。⑦ プトゥンが彼の中辺分別論註を引用している³。

⑤については、その書⁴の奥書に「筆記は教証と理証の海を渡った gNas drug pa blo gros mtshungs med がなされた」と記されており、彼が仏教学全般に精通していたことが伺われる。

また、チムトゥン・ロサンタクパ (mChims ston blo bzang grags pa, 1299-1375) の『俱舍論頌』註釈書 *Chos mngon pa gsal byed legs par bshad pa'i rgya mtsho* の奥書には、この著作を作るきっかけとしてソナムギェルツェンによる度重なる要請と「五明 (Inga rig pa, 工巧明、医方明、声明、因明、内明) を完全に成就した大学者である三蔵の偉大なる保持者 gNas drug pa blo gros mtshungs med などの諸々の学者にお願いされ云々⁵」と記される。こ

の記述からも彼の学識が尋常では無かったことが知られる。

また、gNas drug pa は弥勒の五法とカーラチャクラに精通していたと報告され⁶、*Tshad ma bsdu pa* という論理学書も著していたようである⁷。さらに *Yum gsum gnod 'joms* の解釈について、ツォンカパの現観莊嚴論の註釈書である *Legs bshad gser 'phreng* に影響を与えたと考えられている⁸。

2) テキストと内容について

gNas drug pa の般若心経註は『カダム派文集』の第三巻に収められている⁹。ウメ字体テキストである。タイトルページを除き六葉からなる。表・裏に印字され、一葉につき八行（最終頁は除く）、一行当たり四十語前後で記される。

比較的判読し易いテキストであるが、判読不能な箇所や文字が欠落している箇所が散見される。さらにテキストの一葉分（三葉目）がまるごと欠落している。

テキストは八行が定型であるが、本文で脱落した語句や文章を行間または欄外に書き込みを入れ補っている。この書き込みは一層テキストの判読に困難さを加えている。

以上の諸点はローマナイズしたテキストの中で示してある。

gNas drug pa の註釈は *Sher snying gi 'grel pa*（般若心〔経〕註）とのみあり、特別なタイトルを有していない。

奥書には、彼の註釈方法として「チベットで伝承された流儀に依っていない」と述べる。確かに彼の註釈はチベットで最も影響力のあるヴィマラミトラ註に発する経全体を八種（導入、時期、説法者にあずかる会衆、因由、質問、十一の回答、賛同、随喜）に分ける形式に従っていない。彼は経全体を①経題の言明、②因由、③般若への趣入、④空性の相、⑤般若の対象領域、⑥般若の徳性、⑦般若の果、⑧般若の陀羅尼、⑨賛同の表明、⑩随喜の十種に分ける。これはプラシャーストラセーナの註釈の構成とほぼ同じであり¹⁰、この解釈を踏襲している。

一方で、本文中には、カマラシーラ、ヴィマラミトラの説が引かれ、『般若要集』『月灯三昧経』『十地経』が典拠として引用される。しかしながら、これらの典籍は全てヴィマラミトラ註に跡付けられ、gNas drug pa が般若心経本文を解釈するに当たってはヴィマラミトラ註に負っていることを物語る。

上でテキストの三葉目がすべて欠落していると述べたが、これは③の「般若への趣入」の一部と④の「空性の相」の一部の欠落に当たる。gNas drug pa は経文を五道に配当する解釈をおこなっているため、この欠落部分にはおそらく、資糧道と加行道に該当する記述があったものと思われる。

試訳においても、テキストの欠落、判読の困難な箇所、脱落した箇所の書き込み部分についてはその都度示しておいた。

本文註

* 立正大学法華文化研究所研究員

1. BDRC では、mkhan po yon tan gyis nyar thsags mdzad pa'i dpe rnying bris ma phyogs (TBRC Resource ID: W3CN57) の第 88 巻に gNas drup pa の著作があることが示されるが、現時点で公開されていない。
2. Kano[2016]pp.322-323
3. Kano[2016]p.320 以下の説明では先行研究にも言及しながら、Blo gros mtshungs med という名前を持つ四人の人物を挙げ、それぞれ別人であると述べる。その中の一人、gSang phu pa blo gros mtshungs med については、宝性論註 *Theg pa chen po'i rgyud bla ma'i bstan bcos kyi nges don gsal bar byed pa rin po'i sgron me* の著者と見なしており、gNas drug pa の作とは見ていないが、サキャ派における六大学問 (pod chen drug, 般若学、論理学、律学、阿毘達磨学、中観学、戒学) のテキストへの註釈を集成した叢書 *Pod chen drug rtsa 'grel phyogs bsgrigs* (全 20 巻) の第 18 巻 (mkhan po 'jam los gtso sgrig, *Pod chen drug rtsa 'grel phyogs bsgrigs*, vol.18, Si khron mi rigs dpe skrun khan, 2014) の中には gNas drug pa 名義で、『中辺分別論頌』への註釈 *dBus mtha' rnam 'byed kyi 'grel pa dbu ma'i rgyan* (PChD. pp.436-507) と上記『宝性論』への註釈 (PChD. pp.577-772) が取められており、gSang phu pa blo gros mtshungs med と gNas drug pa blo gors mtshungs med を同一人と見ているようである。この点については、さらに調査が必要かも知れない。
4. BDSG. pp.1-441
5. NgLG. p.224
6. BSMTh.11b6-12a1
7. MNyR. p.6
8. DNgJNg.p.354
9. KDSB3. vol.15, pp.361-373
10. プラシャーストラセーナの註釈については、渡辺 [2016b] を参照。

凡例：

[]：テキストの所在

《 》：行間、または欄外に記された書き込み

[—]：判読不能

試訳

[1a1] 般若心〔経〕註

[1b1] 善逝の母たる一切諸法の最上のもの
諸々の聖者がいらっしゃる道たる利益と安楽が生じる蔵
無量の功德たる般若波羅蜜に礼拝して [1b2]
般若心〔経〕の註釈を明確に書こう。

これには十種の内容がある。すなわち、①経題の言及、②因由、③般若への趣入、④空性の相、⑤般若の対象 [1b3] 領域、⑥般若の徳性、⑦般若の果、⑧般若の陀羅尼、⑨賛同の表明、⑩随喜である。

第一【経題の言及】

名称を言わなければ内容を知ることができないので、[1b4] 経の名称と内容を知るために題名を言うことについては、インド語で “Arya prajñā pā ra mi tā hr da ya” という。チベット語の翻訳と解釈については、不善から遠く [1b5] 離れているので聖なるもの〔であり、〕出世間の知 (shes pa) の中で最上つまり無上であるので般若である。これ (= 般若) によって生存と寂靜 (= 輪廻と涅槃) 二つの彼岸に到達するものであるので波羅蜜多である。

広 [1b6]・中・略三つの甚深なる内容一切をここ (= 般若心経) に含んでいるからか、或いは勝者がお説きになった教えの中でこの母 (般若) が最上とお説きになっているので心髄である。

第二【因由】

因由が示されなかったら語句に〔必然的な〕脈略が無 [1b7] く、説明の要点などが分からないので、それ (= 因由) の説明については「聴いた」という限定句 (khyad par gyi gzhi) が付されているし、「誰が聴いたのか」と言うならば、仏説を結集した者たる「私が」である。

それ (= 結集した者) について、或る者は「文殊」だと主張し [1b8]、他の者たちは「観音菩薩である「私が〔聴いた〕」と説明する。《しかしながら、持金剛または阿難であると軌範師ハリバドラは主張なさっている》¹。「私が聴いた」ならば、増益と損減を離れていること〔を示している〕。「このように」とは「そのようにお説きになった」という箇所までの〔般若心経の〕経文〔を示している〕。[2a1]

「時はいつか」と言うならば、秋または朝のある時にである。すなわち聴き難いことが示されている。

「どの教師から聴いたのか」と言うならば、四魔を打ち倒した、或いは六福分²を具えている世尊から [2a2] である。

場所はピンビサーラ王の邸宅や宮殿があるマガダ国の城市の特定の場所である。その東の方に〔全体が〕鷲のような形状、または頂上が塊として鷲 [2a3] のような形状〔の山〕があるので〔Grdhra; グリドラであり〕、或いは多くの鳥が群がっている、または《宝石などの集積している〔山〕があるので〕集積の山 (= phung po'i ri; クータ) である。そこは世尊がいらっしやったので仏塔となっており、火等によって破壊されないのである。

以上によって五円満 [2a4] が示されている。すなわち、時と教師と場所と教法と会衆の円満である。

会衆とは煩惱を離れていることにより比丘である。僧伽については「サンガ (samgha)」

というのは集団である。魔などの攻撃 [2a5] によって分断されないのでサンガ (=僧伽) である。

彼等によって囲まれて、神通などの大いなる力 [を持っていることによって]、そして千二百五十人もの人がいるため、大勢ということによって「大」である。

菩提とは心の《無垢》なる〔根源〕界 (dbyings) [であり、] 真如で [も] あり、それを覚っている [2a6] ゆえに偉大なる勇猛心を具えているので「薩 (sems dpa')」と言うし、〔菩薩の〕僧伽について説明する場合には、「大」とは心と断と覚りが偉大ということ、すなわち三つの所期を具えていることによって [説明される]。[2a7]

彼等と共に、つまり一緒に《御身・御口・御心・御業たる》立ち居振る舞い (spyod lam)・説法・《別解脱に (so thar la)》内面で正しく留まることと等至との四つによっていらっしゃるか、あるいはまた、梵天と天と聖者のいらっしゃり [2a8]、無上であるので大悲という以上の四つの説示と、空性解脱門つまり三つによっていらっしゃるのである³。

「～して (te)」によって⁴、過去時にいらっしゃったと示すのである。

これについて、「声聞」と言っているのは、結集 [2b1] <[——] できない。[——] 〉と述べていると言う。[——] 場所 (yul) と時も確実であることが示されている。

「信仰を具えている者が入る清浄性に結集者自らが居なくては〔経の信憑性が〕成立しないから、〔信憑性を示すために〕世間では場所や時などによって表示され、証言者を伴っている語句を語る。〔語り〕手を信頼すべきこと、会衆の主な者達を調教し、大乘に入るよう示すためであり⁵、[[比丘僧伽を菩薩僧伽より] 先に言及する] というのは [比丘僧伽が] 仏陀の御前に常にいた [2b2] からである」とカマラシーラはお説きになる⁶。ヴィマラミトラは「それについては [正しい] 論理が無いので、下位の者を先に示す順序 [である] [と] 説明し⁷、他の者達は「出家者に [2b3] 敬意を表するために [比丘僧伽が先に] 示されている」と説明する。

第三【般若への趣入】

〔世尊が〕等至していなかったら、〔会衆が〕観察すべき事物をはっきりと覚らないので、覚るためにそれ (=等至) [2b4] に入っていることが示されている。

そのように〔等至に〕入っているときには、世尊たる牟尼は心一境性の三昧に等引しており、その自性に〔心を〕置いているのである。

「どのような三昧にか」と言うならば、[2b5] 法とは自相 (=それ自身の特質) を保持していることであり、その具体的な類別 (nam grangs) が蘊・界・処である。

それらが不生不滅の (=生滅の無い) 空性 [というの] は、甚深 [ということ] であり、それを覚っているので [2b6] 「顕現」と言われる。あるいはまた、「甚深性が遍く、全て、あらゆる点でこれ (=三昧) に顕現しているか、これ (=三昧) によって甚深性が

感得され、覚られていることが「甚深なる顕現」の法門〔である〕とヴィ [2b7] マラミトラは説明している⁸。

あるいはまた、「〔法〕門が甚深であり、かつ広大である」と解説されている。

あるいは、三昧に等引している時には、虚空の自相（特質）に対する分別をすべて断じた [2b8] 菩提を覚ろうと思う勇敢な心の持ち主（sems dpa'）は布施などの波羅蜜が偉大であるので「偉大なる勇猛心の持ち主（=摩訶薩）」と言われる。

あるいはまた、大法『八千頌〔般若経〕』などと発心と信解と

〔—— [3a-3b] 欠損 ——〕

[4a1] 本来空である。すなわち、暫定的な空性は外道達のものだと言われる。

それ故、それ自体が空性の色として顕現するこのものについて「色」という言語的記号 (brda) が付けられている。[4a2] すなわち、言葉による言説とされている。

色は実際に存在するので、「空は色と別である」と考えるならば、色より他にその〔色の〕法性は空性と別ものとしては存在しないので、色は空性と別ではない [4a3] のである。

空性が色として顕現していることを指して「色」と言説しているのであって、空性より他の別ものとして色は見出せないで、「空性も色と別ではない」と示されている。[4a4]

あるいはまた、色の相 (mtshan nyid; 特質) が空性の相であるので、「色は空である」というのは輪廻の辺に陥る〔ことを防ぐ〕対治としてお説きになっている。その空性の相は色の相でも [4a5] あるので、「空性は色である」とは涅槃の辺に陥る〔ことを防ぐ〕対治としてお説きになっているのである。

「色は空である」ことは同様に、感受することという受、特徴を捉えることという [4a6] 想、四つの蘊以外の行、境を個別に知ることという識〔も〕空である。

空性はまたそれら受などである。受等とも空 [4a7] 性は別ではない。空性とも受等は別ではない。

ここから「無増」までによって見道が示されるとお説きになっている。

「シャーリプトラよ」と呼び掛けてから、[4a8] 上で説明したことによって、蘊・界・処と縁起と諦などの存在は空〔である〕。何故ならば、自体を欠いているからである。

それらによって、蘊などが自性に関して空である（=自性を欠いている）[4b1] という見方が説明されて、〔それから〕相（特質）が無い（存在しない）という見方については、一切法の法性は自〔相〕・共相が無いこと、始まりと終わりが無いので以前に無いものは生じていないこと、以前に在るものは滅さない、[4b2] 煩惱は本体が無いので法性は無垢であること、すなわち自性によって光明であるのでそれ自体によって垢と離れているので

ある。

過失によって〔根源の〕法界は減ることがある〔わけではない〕。すなわち仏陀〔の境地〕[4b3]を得たとしても功德によって広がったり、増えたりすることは無い。

あるいはまた、輪廻において空性は減ることは無い。大菩提には〔それ以上に〕発展することが無いので、不増である。

この箇所から「非得〔も〕[4b4] 無い」という箇所までで修道が示されると説明されている。

また、観自在菩薩が「シャーリプトラよ」と呼び掛けてからお説きになった行相(=形象)によって一切法を見るのはそのよう[4b5]であるので、空性が正しく随見されることについては、色を正しく見ることはない、受と想と行と識とを正しく随見することは無い。何故ならば、法の[4b6]如何なるものも見えないこと、そのことこそ空性が見えることであるからである。

あるいはまた、「空性は色ではない」か、「空性を指して〔その〕名称を「色」だと表現できない」〔ということについて、それ〕は、「色」などの固定した名称には〔空性においては色としての〕完全[4b7]な特徴(mtshan ma)が排除されているからであるとお説きになっている。

処の否定については、ゴマの花のような眼〔根〕は無い。樺の木の木肌を捻ったような耳根は無い。針を[4b8]並べたような鼻根は無い。半月のような舌根は無い。身根の所依となるような身の根は無い。六聚(=六識)が過ぎ去った直後の意〔根〕は無い。すなわち六根の[5a1]境である二種の色は無く、八つの声は無く四つの香りは無く、六つの味は無く、十一の所触は無く、受、想、行、無表色、無為には[5a2] 真実の⁹法処は無いのである。

界の否定については、「眼の相(=特質)を保持している界は無い」から眼界に至るまでの六〔根〕界と「色界は無い」から「法界」に至るまで〔の六境界〕が無い。それが無い[5a3]ので「眼識界は無い」から第六意識界に至るまで〔の六識界〕も無いのである。

業と果に愚かなことの無明、行、識、名色、六処、触、受、愛[5a4]、取、有、生、老死、すなわち染汚面は老死に至るまで無い。

清浄面は「無明が尽きたことは無い」から〔その後の〕「老死が尽きた」に至るまで無い。すなわちそれ[5a5]らは世俗として存在するのである。

「もし、十二支が生滅することが諦(=真実)として無いならば、苦〔諦〕などの四諦も無くなってしまいが、それらは聖者の諦である[5a6]ので虚偽であることは妥当ではない」と言うならば、〔次の通りである。すなわち〕所知である三苦によって適宜、苦苦については、それ自体が生じることは無いから勝義として存在しない。

苦が生じる[5a7]ことが無いので、所断たる無明や愛や業の集〔諦〕は無い。まさに

それ故に苦が滅した滅〔諦も〕無いのである。

したがって、その苦の滅が得〔5a8〕られる方法としての依拠すべき道諦が涅槃に到らせることは無いのである。

境たる四諦が無いので、それを覚る「心は無い」とは相〔を捉える心〕の過失を断じるために説かれている。

〔十〕力〔5b1〕や〔四〕無畏などの徳性、あるいは大菩提は以前にないものから得られることは無い。何故ならば、〔それを〕得させる道が無いからであり、また本来一切有情には〔仏陀や凡夫も実体性がないということについては〕平等なものとして〔5b2〕あるからである。

あるいはまた、空性には得る対象としての菩提は無く、得る主体である有情〔も〕無いので、得は無く、垢が尽きているので〔菩提を〕実現することも尽きているのであって、心の〔根源〕界が本来的に〔5b3〕存在することによって非得もまた無いのである。

第五【般若の対象領域】

何を縁するかを知るために般若の対象領域について、ここから金剛喩定〔まで〕が示される。また、観自在菩薩が〔5b4〕「シャーリプトラよ」と呼び掛けて、「得が無い」等、すでに説明し終わったような理由で、菩薩たちが仏母（＝般若）にはどんな法も得られることはない故に、そのように知ってから、般若〔5b5〕波羅蜜多の説明されている通りの相を修習する道（＝修道）に依拠しつつ勇猛な精進によって入って、住するのである。すなわち、得られるべき対象である菩提は、『月灯三昧〔経〕』の中で〔5b6〕「極微細な法も在るのではない「極微細」というものさえ在るのではない¹⁰」と説かれている。

「菩提への過失を排除して智なるものもなく、功德が得られること〔5b7〕もないならば、〔仏〕母に何故入るのか」と問うならば、〔次の通りである。〕

第六【般若の徳性／決心を生じさせるために般若の徳性を解説すること¹¹】

すべてに渡って遮るので障害〔である。それは〕煩惱〔障〕と所知〔5b8〕障との二つである。心にはそれ（＝二つの障害）が無い故に、〔仏〕母に留まっているならば、それらは無いので、輪廻と悪趣に生まれる恐怖や甚深なる法に対する怯えや恐れが無い。何故ならば、〔6a1〕ブドガラと法について増益の顛倒から全く脱出したこと、つまり習気も併せて（＝所知障も併せて）解脱してからである。

輪廻は分別である。つまり「分別すること〔6a2〕より他の“輪廻”というものは何も無い」と言われる。分別が消尽したことが涅槃である。つまり、その「究竟」が究極のものである。

すなわち、『十地〔6a3〕経〕の中で「修習によって断じられるべき（＝修所断の）分別

を断じているために清浄の究竟に到っている。つまり、それ以上に断じられるべきもの (= 所断たる) 分別が無いからである¹² [6a4] とされる。

第七【般若の果】

行の必要性を示すために般若の果は過去・未来・現在の三世にお行きになった〔・お往きになる・お往きになるだろう〕または〔今〕いらっしゃる〔仏〕地で二つの智慧 (mkhyen pa) [6a5] の眼が得られること (= 眼の得) [が示され、それら] すべても般若波羅蜜多に依拠して「上」つまり上方には〔何も〕無いこと (= 無上)、すなわち正しく無顛倒の究極に到っているので完全円満である。

また、[6a6] 完全性については「平等」と〔いう言葉が〕出ていることによれば、無相性によって同一相として平等なのである。

菩提とは覚り (rtogs pa) であり、「ありあり」とは現前 (mngon sum)、つまり現前に菩提を得る [6a7] ことである。すなわち覚りについては、諸仏と徳性の円満、あるいは平等に成仏することである。それ故にこれ (= 般若波羅蜜多) が一切諸仏の母である。

ここで般若波羅蜜多に依拠して〔仏陀が〕生まれるので、依拠される般若 [6a8] 波羅蜜多は一切智として述べられる無間三昧である。何故ならば、完全な菩提より以前の時 (= 金剛喩定) であるからである。「弥勒〔菩薩〕の直説 (= 現観莊嚴論) でも「無間三昧、[6b1] それは一切智性」と説かれているからである」とヴィマラミトラは説明している¹³。

第八【般若の陀羅尼】

〔陀羅尼は〕墮落せず保持するために言われている。「シャーリプトラよ」と呼び掛け [6b2] て、前に解説した「それ故に真実〔である〕」つまり誤りないものとして般若波羅蜜多はマントラとして知るべきである。何故ならば「マントラ (mantra)」について文字を添加した語源解釈として「mañ」は知ること、「tra」は [6b3] 救護することであるからである。力を知ること (dbang shes pa) が般若の本体、「救護すること」によって働きが示されている。

望みを叶えてくれるので「明 (rig pa)」である。明でもあり大でもある [6b4] ので「大明」である。それは語源解釈の仕方によってマントラ (= 呪) である。これ以上に最上のものが他に無いので無上マントラ (= 無上呪) である。

「不等」とは「a-sa [6b5] ma」、つまりこれと似たようなものとか相同するものが無い虚空 [のようなもの] である。それと「等」しい、または相同するマントラである。あるいはまた、世間の者や声聞・独覚と等しくなく (= 不等)、一切諸仏の智と「等」しい [6b6] マントラである。

したがって、「mañ」という語源解釈の意味について、「知ること」を説明してから「救護する」意味を説明するのは、行〔苦〕と壊〔苦〕と苦苦との一切の流れを断ち、完全に寂靜にさせる〔6b7〕マントラである〔からである〕。

また、二種のものとして〔言う〕ならば、〔一つは〕内の習気を取り除くので般若波羅蜜多のマントラである。〔もう一つは〕外の相一切を取り除くので大明マントラ（＝大明呪）である。内外〔6b8〕との両者の相を取り除くので無上マントラ（＝無上呪）である。仏の果を成就させるので不等等のマントラ（＝不等等呪）である。悪趣を遮り、有情の利益を為すので苦の〔7a1〕すべてを完全に寂靜にするマントラである。

「これは虚偽ではない」〔とは〕不顛倒であるので真実にして真如、つまりありのままのものであると〔マントラを〕捉えて知るべきである。

その〔7a2〕ような般若波羅蜜多の陀羅尼が述べられている。すなわち、「tadyathā」とは「かくの如し」である。

「gate gate」とは「到った、到った」である。つまり一切の顯現が幻〔7a3〕のようなもの〔という境地〕に到ったのである。すなわち憶念なく、作意されるべきものが無いことに到ったのである。

「pāragate」とは「彼岸に到った」である。すなわち「憶念の彼岸において空性に到った」〔7a4〕である。

「pārasamgate」は「彼岸に正しく到った」である。すなわち「幻と空性の彼岸において無相に正しく到った」である。

「bodhiswāhā〔7a5〕」とは「菩提となれ！（byang chub tu gyur cig）」すなわち「障害を浄化して〔通常の〕意識（blo）を超えてあれ！」である。

あるいは、觀自在〔菩薩〕がシャーリプトラに呼び掛けて菩薩摩訶薩が以前に〔7a6〕お説きになった仕方《[——]「[——]」行相（＝形象）のように般若波羅蜜多つまり空性を学ぶべきである」と総括して（mjug bsdus te）教誡しているのである。

第九【贊同の表明】

「すると、その直後に世尊は》“甚深なる顯現”という三昧に入定した状態から起きて」とは所化の顯現に対して（＝所化が見る仕方に応じて）後得智を示しているからである。

〔世尊は〕菩薩〔7a7〕摩訶薩たる聖觀自在が一切諸仏の意図なされた甚深なる仏母を誤りなく説示したことをお慶びになって、觀〔自在菩薩〕を仏陀の御眼で〔7a8〕ご覧になり、「よい」という労いを与えた。「よい、よい」とは非常にお慶びになったため、あるいは因（＝シャーリプトラの質問）と果（＝觀自在菩薩の回答）が清浄であることをご覧になって二度おっしゃったのである。〔7b1〕

觀〔自在菩薩〕に対して「善男子よ」と呼び掛けて「あなたが説明したことはその通り

である」すなわち、それ以外ではないので「善男子よ、それはそれに他ならない」とおっしゃったのである。[7b2]

「観〔自在菩薩〕よ、あなたが説示したその通りの仕方であ般若波羅蜜多の甚深性を行じるべきである」と言う。

第十【随喜】

あなたが [7b3] 説示したこれについては十方の世尊、つまり真如を覚っている如来達も随喜するのである。

「～も」という語によって牟尼自身〔も〕お喜びになっていることが理解されるのである。[7b4] いま、これを説明し、行ずること (sgrub pa) についても随喜なされたということが間接的に示されている。

世尊が〔この経文の〕前の箇所〔出てきた〕『そのように』とおっしゃって」という箇所、或いは「シャーリプトラよ」と質問すること [7b5] から始まって「随喜なされた」までが『そのように』とおっしゃって〕〔の内容である〕とヴィマラミトラは説明する¹⁴。

シャーリプトラ長老たる質問者、説者たる観自在菩薩 [7b6] 摩訶薩、及び四種の会衆すべてがここに参集しているので、すべてを具備している「会衆」と言われる。彼らと、四天王 [7b7] 種などの天と、人間たちと、阿修羅、夜叉女の息子などと、天の御前で歌を歌うもの、持国天 (Yul 'khor srung, Dhṛtarāṣṭra) など〔や〕及びガンダルヴァという [7b8] 世間の者〔がいる。世間とは〕、壊れ、衰滅するので五蘊が世間である。

彼らが随喜した。つまり感激して世尊がお説きになり、説明されたこと [8a1] を非常に喜んで受持し、称賛した。これが加持の教説である。

【奥書き】

この内容は私が [8a2] 他の人に聞かず、チベットで伝承された流儀に依っていないので、理解しがたいこの〔経の〕内容を間違えて説明していることがあるならば、聖者と知者達が堪忍して [8a3] 下さいますように。

しかしながら、多くの知者の善説を非常に明晰な知性によってよく考察して、それら〔の内容〕から〔自分の〕勝手な解釈を捨てて書いているので、[8a4] この正しく著されたものに過失はないと思います。

般若心経の註釈は gNas drug pa が著した。善し。

〈完〉

試訳註

1. 結集者について「文殊」と主張するのは、ジュニャーナミトラ（『集成』 p.154 参照）である。「観自在菩薩」と主張する者については、不詳。ハリバドラの主張に関しては、『現観莊嚴論光明』では持金剛、または阿難であると主張するのはハリバドラ自身の説ではなく、或る者及び他者の説である（NgGN.299a3-4）。シュリーマハージャナは彼の般若心経註でディグナーガなどが持金剛であると紹介している（『集成』 p.236）。
2. 六福分 (skal ba drug) とは、1.dbang phyag phun sum tshogs pa, 2.gzugs phun sum tshogs pa, 3.dpal phun sum tshogs pa, 4.grags pa phun sum tshogs pa, 5.ye shes phun sum tshogs pa, 6.brtson 'grus phun sum tshogs pa である。
3. この「彼等と共に」から「空性解脱門つまり三つによっていらっしゃるのである。」までの文章はよく分からない。「三つによっていらっしゃる」については 1. 「a. 御身・御口・御心・御業たる立ち居振る舞い・ b. 説法・ c. 別解脱に内面で正しく留まることと d. 等至との四つによっていらっしゃる」、2. 「a. 梵天と b. 天と c. 聖者のいらっしゃること、無上であるので d. 大悲という以上の四つの説示」、3. 「空性解脱門」の三つとして解釈したが、「三つによって」が、空性解脱門、無相解脱門、無願解脱門の三つを指すかも知れない。しかしながら、テキストはそのようには読めない。
4. 般若心経の経文。byang chub sems dpa'i dge 'dun chen po dang thabs cig tu bzhugs te/ の te/ を指す。（IH.no.26, vol.34, 259b1）
5. 「信仰を具えている・・・」以下はディグナーガの『般若要集』に基づく（D.no.3809, pha.292b2-3）。和訳は服部 [1961]p.122 参照。この經典の信憑性についての議論は、ヴィマラミトラにもある。Lopez, Jr.[1996]p.50、大八木 [2016]p.86-87、堀内 [2019a]p.176-177 参照。
6. この部分 sngar smos pa ni sangs rgyas kyi drung na rtag par gnas pa'i phyr yin はカマラシーラの般若心経註には見当たらない。ヴィマラミトラ註には他説として紹介される。Lopez, Jr.[1996] p.50、大八木 [2016]p.87、堀内 [2019a]p.177 参照。
7. Lopez, Jr.[1996]p.50、大八木 [2016]p.87、堀内 [2019a]p.177 参照。
8. Lopez, Jr.[1996]p.51、大八木 [2016]p.87、堀内 [2019b]:p.168 参照。
9. テキストは bdan+g となっている。bdag (真実) として読む。
10. Lopez, Jr.[1996]p.63 参照。大八木 [2016] は p.118 註 75 で「法無少塵許 亦無少可得」（『月灯三昧経』大正 15, 564b1）を指示する。
11. /の前は科文列挙の箇所での見出し、後はこの当該箇所の見出し。
12. 大八木 [2016] は p.119 の註 83 で「微細難知大仙道 不可分別離分別 難證無濁慧者境 性常寂靜無生滅」（『仏説十地経』大正 10, 537c17-18）を指示する。
13. Lopez, Jr.[1996]p.65 で *Abhisamayālaṅkāra* の 5 章 38-39 偈を指示する。大八木 [2016] も同じ。p.119 註 85 参照。
14. Lopez, Jr.[1996]p.69、大八木 [2016]p.110 参照。

凡例

[] : テキストの所在を示す。例：[2b1] は 2 枚目裏の 1 行目。

<> : テキストの行間、または欄外に記された挿入句。

[---] : 判読不能文字。

[?] : 判読し難い文字の後に付す。

* * [?] : 一連の判読し難い文字はアスタリスクで囲んで [?] を付した。

X → Y : 正字法による修正を示す。「→」の左が修正前、右が修正後。テキスト本文では上付き数字により註番号を付す。

X → Y [?]: 推定される正しい読みを示す。「→」の左がテキストの語句、右が転記者による推定語句。テキスト本文では上付き数字により註番号を付す。

Text:

[1a1] sher snying gi 'grel pa bzhugs so//

[1b1] bde gshegs yum gyur chos rnams kun gyi mchog//

'phags rnams gshegs shul phan bde 'byung ba'i mdzod//

yon tan dpag med sher phyin la btud nas// [1b2]

sher phyin snying po'i 'grel gsal bri bar bya//

'di la don nam pa bcu ste/ mtshan smos pa dang/ gleng gzhi dang/ shes rab la 'jug pa dang/
stong nyid kyi mtshan nyid dang/ shes rab kyi spyod [1b3] yul dang/ shes rab kyi yon tan dang/
shes rab kyi 'bras bu dang/ shes rab kyi gzungs dang/ 'thun 'gyur brjod pa dang/ rjes su yi rang
ba'o//

dang po ming ma smos na don shes mi nus pas [1b4] mdo'i ming don shes par bya ba'i phyir
mtshan smos pa ni rgya gar skad du/ aya pradzny'a p'a ra mi t'a hri da ya zhes pa ste/ bod skad du
bsgyur ba dang bshad pa ni mi dge ba las ring [1b5] song bas 'phags pa 'jig rten las 'das pa'i shes
pa las mchog bla na med pas shes rab ste 'dis srid zhi gnyis kyi pha rol du¹⁾ phyin par byed pas pha
rol tu du²⁾ phyin pa'o// rgyas [1b6] 'bring bsdu s gsum gyi don zab mo thams cad 'dir 'dus pa'i phyir
ram/ rgyal bas gsungs pa'i nang na yum 'di mchog tu gsungs pas snying po'o//

gnyis pa ni gleng gzhi ma bstan na tshig ma 'brel [1b7] zhing bshad pa'i gnas la sogs pa mi
shes pas de bshad pa ni thos so zhes khyad par gyi gzhi byas la gang gis thos na bka' sdud pa po
bdag gis so// de'ang kha cig 'jam dpal du 'dod la [1b8] gzhan dag spyang ras gzigs bdag gis zhes par
'chad do// <'on kyang phyag rdor ram kun dga' bo yin par slob dpon seng bzangs³⁾ bzhed do//> ga⁴⁾
thos na sgro skur dang bral ba 'di skad ces bya ba ni de skad ces bka' rtsal zhes pa'i bar gyi mdo'i
tshig go// [2a1]

dus nam gyi tshe na ston nam snga dro lta bu'i dus gcig na ste/ thos par dka' bar bstan to// ston
pa gang las thos na bdud bzhi bcom ba⁵⁾ am skal ba drug dang ldan ba'i⁶⁾ bcom ldan 'das [2a2] las
so//

gnas ni rgyal po gzugs can snying po'i khyim mam khab yod pa ma ga ta'i grong gi bye brag

1) du → tu.

2) du → tu.

3) bzangs → bzang.

4) ga → bdag gis [?]

5) ba → pa.

6) ba' i → pa' i.

go// de'i shar phyogs na lhun bya rgod dang 'dra ba'am rtse mo rdog rdog por bya rgod dang [2a3]
 'dra bar yod pas dang bya mang po 'du ba'i phyir ram <rin po che sgogs⁷⁾ kyi phung por gyur pa
 yod pas> phung po'i ri ba'o⁸⁾// de ni bcom ldan 'das bzhugs pas mchod rten du gyur cing me la sogs
 pas mi 'jig pa yin no//

de dag gis phun sum tshogs pa [2a4] lnga bstan te dus dang ston pa dang gnas dang chos dang
 'khor phun sum tshogs pa'o// 'khor ni nyon mongs dang bral bas dge slong ngo// dge 'dun ni sang
 gha zhes pa tshogs te bdud la sogs pa'i phyir rgol [2a5] bas mi phyed pas dge 'dun no// <de dag gis
 bskor nas> rdzu 'phrul la sogs mthu che ba dang stong nyis brgya lnga bcu yod pas grangs mang
 bas chen po'o// byang chub ni sems kyi dbyings <dri med> de bzhin nyid yin la de rtogs [2a6] pa'i
 phyir snying stobs che ba'i bsam ba⁹⁾ dang ldan bas¹⁰⁾ sems dpa' zhes bya zhing/ dge 'dun ni bshad
 la chen po ni sems dang spong ba dang rtogs pa chen po ste ched du bya ba gsum dang ldan bas¹¹⁾
 so// [2a7]

de dag dang thabs gcig tu ste lhan cig <sku gsung thugs kyi phrin las> spyod lam dang chos
 'chad pa dang <so thar la ---> nang du yang dag 'jug pa dang snyoms par 'jug pa dang bzhis
 bzhugs pa'am/ yang na tshangs pa dang lha dang 'phags pa'i bzhugs [2a8] pa bla na med pas ni
 snying rje chen po dang bstan bzhi pa dang/ stong pa nyid kyi rna¹²⁾ thar te gsum gyis bzhugs/ te
 zhes pas <da¹³⁾ pa'i dus na> bzhugs zin par ston to// 'di la nyan thos smos pa ni bsdud [2b1]<---
 mi nus pa/ ---> zhes brjod do zhes so*[?]/ ---> mar rab tu skyod// *zhes gsungs pas/* [?] ---> yul
 dang dus kyang nges bstan pa// dad ldan 'jug *pa'i rnam*[?] dag tu// sdud pa *rang nyid med par
 ni/* [?] mgrum¹⁴⁾ phyir yin 'jon¹⁵⁾ na// yul dang dus sogs kyis¹⁶⁾ mtshan zhang¹⁶⁾/ dpang par¹⁷⁾ bcas
 pa'a¹⁸⁾ tshig smras pa'i// smra> pa po la yid ches par bya ba dang 'khor gyi gtso bo rnam¹⁸⁾ 'dul
 zhing theg chen la 'jug par bstan pa'i phyir yin la/ sngar smos pa ni sangs rgyas kyi drung na rtag
 par gnas pa'i [2b2] phyir yin zhes ka ma la shi la gsung/ bi ma la mi tras de la rigs pa med pas 'og
 ma sngar bstan pa'i rim par 'chad la/ gzhan dag ni rab tu byung ba la [2b3] gus par bya bar bstan pa
 yin zhes 'chad do//

gsum pa shes rab la 'jug pa ni snyoms par ma zhugs na brtag pa'i dngos po gsal bar mi rtogs
 pas rtogs pa'i phyir de [2b4] la zhugs pa bstan to// de ltar zhugs pa de'i tshe bcom ldan 'das thub pa

7) sgogs → sogs.

8) ba' o → bo' o.

9) ba → pa.

10) bas → pas.

11) bas → pas.

12) rna → mam.

13) da → 'das.

14) mgrum → ma grub.

15) 'jon → 'jig rten [?].

16) mtshan zhang → mtshon zhing.

17) par → por.

18) pa'a → pa'i.

ting nge 'dzin sems rtse gcig pa snyoms par zhag¹⁹⁾te de'i bdag nyid du bzhag go// ting nge 'dzin ji lta bu la zhe na [2b5] chos ni mtshan nyid 'dzin pa ste/ de nyid kyi rnam grangs ni phung po dang khams dang skye mched rnam so//

de dag skye 'gag med pa'i stong nyid ni zab mo ste/ de rtogs pas na [2b6] snang ba zhes bya'o// yang na zab mo yongs su kun du²⁰⁾ thams cad du 'di la snang ba'am 'dis zab mo khong du chud rig²¹⁾ rtogs pa ni zab mo snang ba'i chos kyi rnam grangs su dri [2b7] med bshes gnyen 'chad do//

yang na rnam grangs zab pa dang rgya che ba zhes bshad do// yang ting nge 'dzin la snyoms par zhugs pa de'i tshe nam mkha'i mtshan nyid rtog pa thams cad spangs pa'i [2b8] byang chub rtogs par 'dod pa'i sems dpa' sbyin sogs phar phyin che bas sems dpa' chen po zhes bya'o// yang na chos chen po brgyad stong pa la sogs pa dang/ sems bskyed dang/ mos pa dang/ [3a-3b all lost] [4a1] ye stong pa ste/ nyi tshe'i stong nyid mu stegs can rnam kyi zhes so// de bas na rang gi ngo bo stong pa nyid kyi gzugs su snang ba 'di la gzugs so zhes brdar btags [4a2] tshig gis tha snyad du byas so// gzugs don la yod pas stong gzugs gzhan yin no snyam na gzugs las de'i chos nyid stong pa nyid khud na med pa'i phyir gzugs stong pa nyid gzhan ma [4a3] yin no// stong pa nyid gzugs su snang ba la gzugs su tha snyad byas kyi stong pa nyid las logs su gzugs mi rnyed pas stong pa nyid las kyang gzugs gzhan ma yin no zhes bstan to// [4a4] yang na gzugs kyi mtshan nyid stong pa nyid kyi mtshan nyid yin pas gzugs stong pa'o zhes 'khor ba'i mthar ltung ba'i gnyen por gsungs/ stong nyid kyi mtshan nyid de gzugs kyi'ang mtshan nyid [4a5] yin pas stong pa nyid gzugs so zhes myang 'das kyi mthar ltung ba'i gnyen por gsungs so// gzugs stong pa yin pa de bzhin du myong ba'i tshor ba dang/ mtshan mar 'dzin pa'i [4a6] 'du shes dang/ phung po bzhi las gzhan pa'i 'du byed dang/ yul so sor rnam par rig pa'i rnam par shes pa rnam stong pa'o// stong pa nyid kyang tshor sogs de dag go// tshor sogs las kyang stong [4a7] pa nyid gzhan ma yin la/ stong pa nyid las kyang tshor sogs gzhan ma yin no// 'di nas gang ba med pa'i bar gyis mthong lam bstan gsung ngo// sha ri'i bu zhes bos nas [4a8] gong du bshad pa de bas na phung khams skye mched rten 'brel bden pa la sogs pa'i yod pa dang stong pa de rang gi ngo bo med pa'i phyir ro// de dag gis phung sogs la rang bzhin gyis stong par [4b1] lta tshul bshad nas mtshan nyid med par lta tshul ni chos thams cad kyi chos nyid ni rang dang spyi'i mtshan nyid med pa/ thog mtha' med pas sngar med ma skyes pa/ sngar yod ma 'gags pa'o// [4b2] nyon mongs pa ngo bo med pa'i phyir chos nyid dri ma med pa/ rang bzhin gyis 'od gsal ba'i phyir ngo bo nyid kyis dri ma dang bral ba'o// skyon gyis chos dbyings bri ba yod pa sangs rgyas [4b3] thob kyang yon tan gyis rgyas shing gang ba med pa'o// yang na 'khor bar stong nyid bri ba med/ byang chub chen por 'phel ba med pas gang ba med

19) zhag → zhugs.

20) du → tu.

21) rig → cing [?].

pa'o// 'di nas ma thob pa [4b4] med kyi bar gyis ni sgom lam bstan zhes 'chad do// yang spyan ras gzigis kyis/ sha ri'i bu zhes bos nas ji skad gsungs pa'i rnam pas chos thams cad la lta ba de lta [4b5] bas na stong pa nyid yang dag par rjes su mthong ba la gzugs yang dag par rjes su bltar med/ tshor ba dang/ 'du shes dang/ 'du byed dang/rnam par shes pa yang dag par rjes su bltar med de/ chos [4b6] gang yang mi mthong ba nyid stong pa nyid mthong ba yin pa'i phyir ro// yang na stong pa nyid gzugs ma yin zhes sam/ stong pa nyid la ming gzugs su mi brjod ces gzugs sogs ming la sogs [4b7] pa'i mtshan ma bsal ba'i phyir gsungs so// skye mched 'gog pa ni zar ma'i me tog lta bu'i mig med gro ga gcus pa lta bu'i rna ba'i dbang po med/ mo khab [4b8] gshibs pa 'dra ba'i sna med/ zla ba phyed pa 'dra ba'i lce med/ lus dbang rten 'dra ba'i lus kyi dbang po med/ tshogs drug 'das ma thag pa'i yid med/ dbang po drug gi [5a1] yul gzugs rnam gnyis med/ sgra brgyad med/ dri bzi med/ ro drug med/ reg bya bcu gcig med/ tshor ba 'du shes 'du byed rig byed ma yin pa'i gzugs 'dus ma byas rnams la [5a2] bdan+g²²⁾ pa'i chos kyi skye mched med do// khams 'gog pa ni mig gi mtshan nyid 'dzin pa'i khams med pa nas yid kyi khams kyi bar khams drug dang/ gzugs kyi khams med pa nas chos kyi khams kyi bar med/ de med [5a3] pas mig gi rnam par shes pa'i khams med pa nas drug pa yid kyi rnam par shes pa'i khams kyi bar du yang med do// las 'bras la rmongs pa'i ma rig dang 'du byed rnam shes ming gzugs skye mched drug reg pa tshor ba sred [5a4] pa len pa srid pa skye ba rga shi ste kun nas nyon mongs phyogs rnams rga shi'i bar med do// rnam byang gi phyogs ma rig pa zad pa med pa nas rga shi zad pa'i bar du med de/ de [5a5] dag kun rdzob du ni yod do// gal te yan lag bcu gnyis skye 'gag byed pa bden pa med na sdug bsngal la sogs pa'i bden bzhi yang med par 'gyur na de dag 'phags pa'i bden pa yin [5a6] bas²³⁾ brdzun bar mi 'thad ce na/ shes bya sdug bsngal gsum gyis ci rigs par sdug bsngal ba'i sdug bsngal ba la ni rang gi ngo bo skye ba med pa'i phyir don dam par med do// sdug bsngal skye [5a7] ba med pas spang bya ma rig pa dang sred pa dang las kyi kun 'byung ba med/ de nyid kyi phyir sdug bsngal 'gags pa'i 'gog pa med do// de bas na sdug bsngal de 'gog pa thob [5a8] pa'i thabs bsten bya lam gyi bden ba²⁴⁾ myang 'das su phyin byed med do// yul bden bzhi med pas de rtogs pa'i sems med ces mtshan ma'i skyon spang ba'i phyir gsungs so// stobs [5b1] dang mi 'jigs pa la sogs pa'i yon tan nam/ byang chub chen po sngon med pa las thob pa med de 'thob byed kyi lam med pa'i phyir ram/ gdod ma nas sems can kun la mnyam bar²⁵⁾ [5b2] gnas pas so// yang na stong pa nyid la thob bya byang chub med cing thob byed sems can med pas thob pa med cing/ dri ma zad pas mngon du 'gyur bar zad kyi sems kyi dbyings gdod ma nas [5b3] yod pas ma thob pa yang med do//

Inga pa gang la dmigs pa shes pa'i phyir shes rab kyi spyod yul ni 'di nas rdo rje lta bu'i ting

22) bdan+g → bden [?].

23) bas → pas.

24) ba → pa.

25) bar → par.

nge 'dzin bstan te/ yang spyen ras gzigs kyis [5b4] shwa ri'i bu zhes bos nas thob pa med pa la sogs pa sngar bshad pa de lta bas na byang chub sems dpa' rnam yum la chos gang yang thob pa med pa de'i phyir de ltar shes par byas nas shes rab kyi [5b5] pha rol du²⁶⁾ phyin pa ji skad bshad pa'i mtshan nyid bsgom ba'i²⁷⁾ lam la brten cing brtson 'grus drag pos zhugs shing gnas te/ thob bya byang chub ni/ zla ba sgron ma'i ting nge 'dzin las/ [5b6] shin tu phra ba'i chos kyang yod ma yin// shin tu phra ba zhes bya'ang yod ma yin²⁸⁾ zhes gsungs so// byang chub la skyon bsal nas ye shes su gyur pa yang med yon tan thob pa [5b7] yang med na yum la ci'i phyir 'jug ce na/

drug pa spro ba bskyed pa'i phyir shes rab kyi yon tan 'chad pa ni/ kun nas khebs pa'i phyir sgrib pa ste nyon mongs pa dang shes bya'i [5b8] sgrib pa gnyis so// sems lde²⁹⁾ med pa'i phyir yum la gnas pa na de dag med pas 'khor ba dang ngan song du skye ba'i 'jigs pa dang chos zab mo la dngang ba dang skrag pa med de/ gang [6a1] zag dang chos su sgro 'dogs pa'i phyin ci log las shin tu 'das pa ste bag chags dang bcas pa las grol nas so// 'khor ba ni rnam rtog ste rnam par rtog [6a2] las gzhan ba³⁰⁾ yi// 'khor ba zhes bya ci yang med ces so// rtog pa zad pa ni myang ngan las 'das pa ste/ de'i mthar phyin pa ni mthar thug pa'o// ji skad du sa bcu [6a3] pa las/ bsgom pas spang bar bya ba'i rnam par rtog pa spangs pa'i phyir/ rnam par dag pa'i mthar phyin pa yin te/ de'i gong du spang bar bya ba rnam par rtog pa med pa'i phyir ro [6a4] zhes so//

bdun pa spyod pa'i dgos pa bstan pa'i phyir shes rab kyi 'bras bu ni 'das pa dang ma 'ongs pa dang da ltar gyi dus gsum po dag tu gshegs pa'am rnam par bzhugs pa'i sar mkhyen [6a5] pa gnyis kyi mig thob pa thams cad kyang shes rab kyi pha rol du³¹⁾ phyin pa la brten nas bla na ste gong na med pa yang dag pa phyin ci ma log pa'i mthar thug pas na rdzogs so// yang [6a6] rdzogs pa la mnyam ba³²⁾ zhes 'byung ba ltar na mtshan nyid med pa nyid kyis mtshan nyid gcig par mnyam ba'o³³⁾// byang chub ni rtogs pa yin la mngon bar³⁴⁾ ni mngon sum ste/ mngon sum du byang chub [6a7] pa ste rtogs par sangs rgyas rnam dang yon tan rdzogs pa'am mnyam par sangs rgyas so// de'i phyir 'di ni sangs rgyas kun gyi yum mo// 'dir sher phyin la brten nas 'byung ba'i phyir brten pa sher [6a8] phyin ni rnam mkhyen du brjod pa'i bar chad med pa'i ting nge 'dzin yin te/ rdzogs pa'i byang chub las dus snga ba'i phyir/ byams pa'i zhal nas kyang/ bar chad med pa'i ting nge 'dzin// [6b1] de ni rnam kun mkhyen pa nyid// ces gsungs pa'i phyir zhes bi ma la mi tra 'chad do//

brgyad pa shes rab kyi gzungs ni mi ltung bar 'dzin pa'i phyir smos te/ sha ri'i bu zhes bos

26) du → tu.

27) ba'i → pa'i.

28) yin → yin//.

29) lde → la de.

30) ba → pa.

31) du → tu.

32) ba → pa.

33) ba'o → pa'o.

34) bar → par.

[6b2] nas sngar bshad pa de lta bas na bden pa ste ma nor bar shes rab kyi pha rol tu phyin pa ni sngags su shes par bya ste/ man tra zhes pa la yi ge bsnan pa'i nges tshig ma Na shes pa dang/ t'a³⁵⁾ ya ti³⁶⁾ [6b3] skyob pa yin pa'i phyir/ dbang shes pa ni shes rab kyi ngo bo dang/ skyob pas byed las bstan to// 'dod pa grub pa thob pas rig pa'o// rig pa yang yin la chen po yang yin [6b4] bas³⁷⁾ rig pa chen pol³⁸⁾ // de nges tshig gi tshul gyis sngags so// 'di las gong na mchog tu gyur pa gzhan med pa'i phyir bla na med pa'i sngags so// mi mnyam pa ni a sa [6b5] ma ste 'di dang 'dra ba'am mtshungs pa med pa nam mkha'o// de dang mnyam³⁹⁾ ba 'am³⁹⁾ mtshungs pa'i sngags so// yang na 'jig rten pa dang nyan rang dang mi mnyam zhing sangs rgyas kun gyi ye shes dang mnyam ba'i⁴⁰⁾ [6b6] sngags so// des ma Na ces⁴¹⁾ pa'i nges tshig gi don shes pa bshad nas skyob pa'i don 'chad pa ni/ 'du byed dang 'gyur ba dang sdug bsngal gyi sdug bsngal thams cad rgyun gcod cing rab tu zhi bar byed pa'i [6b7] sngags so// yang rnam pa gnyis su na nang gi bag chags sel bas na shes rab kyi pha rol du⁴²⁾ phyin pa'i sngags so// phyi'i mtshan ma thams cad sel bas rig pa chen po'i sngags so// phyi nang [6b8] dang gnyis ka'i mtshan ma sel bas bla na med pa'i sngags so// sangs rgyas kyi 'bras bu 'grub par byed pas mi mnyam ba⁴³⁾ dang mnyam ba'i⁴⁴⁾ sngags so// ngan song spong zhing sems can gyi don byed pas sdug bsngal [7a1] thams cad rab tu zhi bar byed pa'i sngags so// 'di yi⁴⁵⁾ brdzun te phyin ci ma log pas na bden ba⁴⁶⁾ de kho na nyid ji lta ba bzhin yin bar⁴⁷⁾ bzung zhing shes par bya ste/ de [7a2] lta bu'i shes rab kyi pha rol du⁴⁸⁾ phyin pa'i gzungs sngags smras pa/ tad ya th'a zhes bya ba ni 'di lta ste zhes bya ba'o// ga te ga te ni phyin to phyin to zhes bya ste/ snang ba thams cad sgyu [7a3] ma lta bu la phyin to// dran ba⁴⁹⁾ med cing yid la byar med par phyin to// p'a ra ga te ni pha rol du⁵⁰⁾ phyin to zhes bya ste/ dran ba'i⁵¹⁾ pha rol du⁵²⁾ stong pa nyid la phyin to zhes [7a4] pa'o// p'a ra saM ga te pha rol du⁵³⁾ yang dag par phyin to zhes pa ste/ sgyu ma dang stong nyid kyi pha rol na mtshan ma med pa la yang dag par phyin to zhes pa'o// bo dhi swo⁵⁴⁾ h'a

35) t'a → tra.

36) ti → ste.

37) bas → pas.

38) pol → pa'o.

39) ba 'am → pa'am.

40) ba'i → pa'i.

41) ces → zhes.

42) du → tu.

43) ba → pa.

44) ba'i → pa'i.

45) yi → mi [?].

46) ba → pa.

47) bar → par.

48) du → tu.

49) ba → pa.

50) du → tu.

51) ba'i → pa'i.

52) du → tu.

53) du → tu.

54) swo → sw'a.

[7a5] ces⁵⁵ pa ni byang chub tu gyur cig ces pa ste sgrib pa byang nas blo las 'das par gyur ces pa'o//

yang spyan ras gzigs kyis sha ri'i bu la bos nas byang chub sems dpa' sems dpa' chen pos sngar [7a6] gsungs pa'i tshul <...rnam pa ltar shes rab kyi pha rol tu phyin pa stong pa nyid la bslab par bya'o zhes mjug bsdu te gdams pa'o//

dgu pa 'thun gyur brjod pa ni de nas de ma thag tu bcom ldan 'das> zab mo snang ba zhes bya ba'i ting nge 'dzin de la snyoms par zhugs pa las bzhengs te zhes pa ni gdul bya'i snang ba la rjes thob bstan pa'i phyir ro// byang chub sems dpa' sems dpa' [7a7] chen po 'phags pa spyan ras gzigs dbang phyug gis sangs rgyas thams cad kyis dgongs pa'i yum zab mo ma nor bar bstan pa la dgyes nas spyan ras gzigs la sangs rgyas kyis spyan gyis [7a8] gzigs shing legs so zhes bya ba'i gtang rag byin te/ legs so// legs so zhes dga' chos⁵⁶ pas sam rgyu dang 'bras bu rnam par dag pa la gzigs nas lan gnys gsungs so// [7b1] spyan ras gzigs la rigs kyis bu zhes bos nas khyod kyis bshad pa de de bzhin ltar yin te/ de las gzhan du ma yin pas rigs kyis bu de de kho na bzhin yin no zhes gsungs so// [7b2] tshul ji ltar spyan ras gzigs khyod kyis bstan pa'i tshul de bzhin du shes rab kyi pha rol tu phyin pa'i zab mo la spyad par bya'o zhes pa'o//

bcu pa rjes su yi rang ba ni/ khyod [7b3] kyis bstan pa 'di la ni phyogs bcu'i bcom ldan 'das de bzhin nyid rtogs pa'i de bzhin gshegs pa rnams kyang rjes su yi rang ngo// kyang gi sgras thub pa nyid mnyes pa gzung ngo// [7b4] da lta 'di 'chad cing sgrub pa la'ang yi rang bar mdzad zhes don gyis bstan to// bcom ldan 'das kyis sngar gyi de skad ces bka' stsal nas zhes pa'am/ sha ri'i bu zhes dris pa [7b5] nas brtsams te yi rang ngo'i bar de skad ces bka' stsal nas zhes bi ma la mi tra 'chad do// tshe dang ldan pa sha ri'i bu zhu ba po dang/ gsung ba po byang chub sems dpa' sems [7b6] dpa' chen po 'phags pa spyan ras gzigs dbang phyug dang/ 'khor rnam bzhi thams cad 'di na 'khod pas na thams cad dang ldan pa'i 'khor zhes bya ba de dag dang/ rgyal chen [7b7] bzhi'i ris la sogs pa'i lha dang/ mi rnams dang/ lha ma yin sbyin byed ma'i bu la sogs pa dang/ lha'i drung du glu len ba⁵⁷) yul 'khor srung la sogs pa'i dri za dang bcas [7b8] pa'i 'jig rten ba⁵⁸) ste/ 'jig cing rab tu nyams pas phung po lnga ni 'jig rten no// de rnams yid rangs te mgu bar gyur nas bcom ldan 'das kyis gsungs shing bshad pa [8a1] la mngon par dga' ba dang ldan bas⁵⁹) bzung zhing bstod de/ 'di ni byin gyis brlabs pa'i bka' yin no// //

don 'di bdag gis [8a2] gzhan la ma mnyan zhing//

bod kyi zer sgros dag la ma brten pas//

55) ces → zhes.

56) chos → ches.

57) ba → pa.

58) ba → pa.

59) bas → pas.

rtogs dka'i don 'di log par bshad srid na//
 'phags dang mkhas pa mams kyis bzod pa [8a3] mdzod//
 'on kyang mkhas pa mang po'i legs bshad la//
 rab tu gsal ba'i blo yis legs brtags nas//
 de dag gzu lum spangs te bkod pas na// [8a4]
 legs sbyar 'di la nyes pa med par bsams//

sher snying gi 'grel pa gnas drug pas sbyar ba'o// //dge'o//

略号表

D：チベット大蔵経デルゲ版

IH：チベット大蔵経ラサ版

大正：大正新脩大蔵経

BSMTh: *dPal kai rdo rje'i rgyud 'chad pa'i sngon du 'gro ba rgyud sde spyi'i nram gzhag la nye bar mkho ba'i legs bshad rje rdo rje 'chang gi gsung la chos rje dpal gyi rgyal mshan gyis zin bris su mdzad pa'i gsung rab ngo mtshar can gyi ma dpe tshig sna ring thung sogs cung zad mi 'dra ba gsum la sa skya pa sngags 'chang ngag dbang kun dga' bsod nams kyis 'dra bsdur zhus dag bgyis pa'i legs par bshad pa blo gsal mig thur*, in Ngag dbang kun dga' bsod nams kyi gsung 'bum 21, Sa kya rgyal yongs gsung rab slob gnyer khang, 2000 (bdr:MW29307)

DNgJNg: 'Jigs med dam chos rgya mtsho, *Drang ba dang nges pa'i don rnam par 'byed pa'i bstan bcos legs bshad snying po'i bsdus don drang nges 'jug ngogs*, Sera Mey Library, 2004

PChD: mKhan po 'jam los gtso sgrig, *Pod chen drug rtsa 'grel phyogs bsgrigs*, vol.18, Si khron mi rigs dpe skrun khan, 2014 (TBRC ID:W1PD181143)

MNyR: Thub bstan chos dar, *Mi nyag 'jam dbyangs grags pa'i rang rnam*, Krung go'i bod rig pa'i dpe skrun khan, 20s05 (TBRC ID:W30416)

BDSG: Ngawang Topgay reproduced, *A Fourteenth century Sa-skya-pa commentary on Śāntideva's Bodhisattvacharyāvatāra by Bla-ma Dam-pa Bsod-nams-rgyal-mtshan*, New Delhi, 1973, pp.1-441

NgLG: Mchims-ston Blo-bzañ-grags-pa of Snar-thañ, *Chos mñon pa gsal byed legs par bsad pa'i rgya mtsho: A concise exposition of the Abhidharmakosa of Ācārya Vasubandhu*, Varanasi, Sakya Students' Union, 1996

KDSB3: *bka' gdams gsung 'bum phyogs bsgrigs* thengs gsum pa, Si khron mi rigs dpe skrun khang, 2009 (TBRC ID:W1PD153536)

NgGN: 'phags pa shes rab kyi pha rol tu phyin pa brgyad stong pa'i bshad pa mngon par rtogs rgyan gyi snang ba (āryāṣṭasāhasrikāprajñāpāramitāvyaḥkyānābhisamayālamkāraloka) Der.no.3791 (cha 1b1-342a7)

『集成』：渡辺章悟、高橋尚夫編『般若心経註釈集成〈インド・チベット編〉』起心書房、2016年
 Kano[2016]: Kazuo Kano, *Buddha-Nature and Emptiness: rNgog Blo-ldan-shes-rab and a Transmission of the Ratnagotravibhāga from India to Tibet*, (Wiener Studien zur Tibetologie und Buddhismuskunde 91) Vienna: Arbeitskreis für Tibetische und Buddhistische Studien Universität Wien, 2016

Kuijp[2014]: Leonard W.J. van der Kuijp, “Studies in Btsun pa Ston gzhon’s Pramāṇavārttika Commentary of?1297 — Part One: Preliminary Observations and the Import of its Title”, *Revue d’Etudes*

Tibétaines, no. 30, Octobre 2014, pp. 111-198

Lopez, Jr.[1996]: Donald S. Lopez, Jr., *Elaborations on Emptiness: Uses of the Heart SŪTRA*, Princeton University Press

大八木 [2016]: 大八木隆祥「ヴィマラミトラ般若心経広大註」『集成』 pp.69-122

服部 [1961]: 服部正明「ディグナーガの般若経解釈」『大阪府立大学紀要 人文・社会科学』9, pp.119-136

堀内 [2019a]: 堀内俊郎「インドにおける『般若心経』注釈文献の研究—ヴィマラミトラ注(1)—」『東洋学研究』56, pp.165-195

堀内 [2019b]: 堀内俊郎「インドにおける『般若心経』注釈文献の研究—ヴィマラミトラ注(2)—」『国際哲学研究』8, pp.167-187

渡辺 [2016a]: 渡辺章悟訳「カマラシーラ般若心経広註」『集成』 pp.51-67

渡辺 [2016b]: 渡辺章悟訳「プラシャーストラセーナ般若心経広註」『集成』 pp.165-201

キーワード: gNas drug pa blo gros mtshungs med、サキヤ派、14世紀、般若心経、注釈書